

メイコのいきいきモーニング……毎週日曜日の朝TBS系列ラジオにて放送中

放送局

TBSラジオ (TBS)	954KHZ	(日)	7:40 - 7:55
北海道放送 (HBC)	1287KHZ	(日)	7:45 - 8:00
東北放送 (TBC)	1260KHZ	(日)	9:05 - 9:20
新潟放送 (BSN)	1116KHZ	(日)	7:00 - 7:15
中部日本放送 (CBC)	1053KHZ	(日)	7:40 - 7:55
毎日放送 (MBS)	1179KHZ	(日)	6:15 - 6:30
中国放送 (RCC)	1350KHZ	(日)	8:40 - 8:55
山陰放送 (BSS)	900KHZ	(日)	7:30 - 7:45
RKB毎日放送 (RKB)	1278KHZ	(日)	7:25 - 7:40
宮崎放送 (MRT)	936KHZ	(日)	7:45 - 8:00
琉球放送 (RBC)	738KHZ	(日)	7:00 - 7:15

*以上の11局ネットで放送しています。

長寿・子育て・障害者基金では、女優の中村メイコさんと作家の神津カンナさん親子の明るいトークで、高齢者・障害者の在宅福祉や生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防止や健全育成、障害者スポーツなどをテーマにラジオ番組「メイコのいきいきモーニング」をお送りしています。

このコーナーは番組の放送内容からピックアップして誌上で再構成したものです。



TBSラジオ「メイコのいきいきモーニング」収録スタジオのメイコさん(左)とカンナさんです。

再録

メイコのいきいきモーニング

「引越し清掃引き受けます」

神奈川県横浜市の寿地区は日本三大簡易宿泊所街のひとつで、二人に一人が60歳以上、住民の約75%が生活保護を受けているといわれています。その寿地区の寿町総合労働福祉会館の一階に昨年4月、NPO法人寿クリーンセンターが運営するリサイクルショップがオープンしました。また同法人は引越し、清掃などの事業も展開し、ここらに障害をもった方たちの就労支援を行っています。事業開始から一年、その成果と課題、役割をレポートしました。

メイコ アルコール依存や薬物依存、気分障害などの障害を抱えた人たちの就労支援に乗り出して、成果を挙げているNPO法人があります。NPO法人寿クリーンセンターの理事で、地元

の診療所のソーシャルワーカー大平正己さんに伺いました。

大平 アルコール依存症という病気、薬物依存症になった方が街にどんどん来るんですね。ここなら生活保護を受けて医療も受けられるからと。その人達が治療を受けて回復した後にすることがない。お金はあつて生活は困らないという中で希望を失っていく。精神的にも落ち込んで病気を再発させてしまうので、自分たちで会社を作って仕

事を創ったらいんじゃないかという意見が出ました。

カンナ 大平さんたちは国内外の障害者団体の活動を参考に検討した結果、自分たちでリサイクルの団体を作ろうと、当事者たち、医療関係者、地元自治会の協力で、「寿町のゴミをリサイクルする会」を立ち上げました。そして一般

業者よりもリサイクル率を高めようと、WAM基金の助成を受けて、手作業で家電製品を分解するための技術を学ぶ講習会を開催し、昨年、NPO法人寿クリーンセンターを設立。寿町総合労働福祉会館の一階に事務所兼リサイクルショップをオープンさせました。

メイコ 店内には洗濯機や冷蔵庫、家

平成21年5月17日放送(第919回)

具、食器など、きれいに磨かれたリサイクル商品が並べられ、商品を探す人など、近所の人がひっきりなしに出入りしています。現在この法人で働いている方は6名で、そのほとんどが50代。心に障害を抱えた方たちです。ここでは障害に配慮した働き方で彼らをサポートしています。大平さんのお話です。

大平 人との関係の中でいろいろ障害



廃家電手分解リサイクル講習会



真剣に耳を傾ける受講者

を抱えている方が多い。基本的には自分たちでルールを作って、人のやり方に対しては横から口を出ししないというルールをひとつ決めていきます。後はその日の体調とか本人との面談をしながら働けるか働けないかということを書いて、ちよつとでも不安があるときは休みなさいということが無理はさせないようにしています。調子が悪くて来ない日もあるんですが、そこでプレッシャーを掛けたり、もう来なくていいとか言わない約束でやっています。

メイコ こうしたゆるやかな働き方をしながら、この仕事だけで生計を立てている人もいれば、生活保護を受けながら短時間ここで働いている人もいます。そうです。従業員のお一人に伺いました。

従業員 分解して銅線とアルミと鉄と全部区分けすると銅線は銅線でお金になるし、鉄は鉄で安くても分離する。まだ何十年もあるからもう一回花咲かそうかと思うんだけど。

カナナ 引越しの仕事もこの重要な事業の一つです。この日は二件の引越し依頼も舞い込んで従業員も朝から大忙しです。元職人だったという50代の従業員のお話です。

従業員 僕はある主治医の紹介で。来られる時は来るんですよ。最初から無理してもきついです。最初から無理はしていきいけば体が戻ってくるじゃないですか。

メイコ そのほかに寿クリーンセンターの三つ目の事業として、「引き払い」という仕事があります。これは病院や施設に入るために部屋を引き払うとか、病気のためにゴミが片付けられない人のために部屋の清掃や不用品の処分をする仕事なんです。住民の約半数が高齢者ですから、こういった仕事の依頼も多いのだそうです。寿クリーンセンターを立ち上げて一年あまり。その成果を大平さんはこのようにお話しくださいました。

大平 一定の収益をあげて事業体とし

てやることはできるという目的は出てきました。それでも重たいものを運びますから皆が出来る仕事じゃない。やはり身体障害がある方とか、精神的に安定しない方にはできない仕事なので、そういう人でもできるようないろんな職種を増やしていくという課題が大きいのと思います。障害のある人を働けないように、社会は効率化していく中で社会の働き方が形作られているので、そういう人たちの働き方というのをちゃんと用意してあげないと。もうひとつのこととしては、皆さん社会の中で病気になるってしまったんですね。ですから病気の人でも働ける職場というものはどういふものなのかということをお自分たちで作って社会に見せていきたい。

廃家電等分解リサイクル講習会事業の概要

NPO法人寿クリーンセンターの前身である寿町のごみをリサイクルする会は、平成20年度、高齢者・障害者福祉基金「地方分」の助成を受けて、廃家電等手分解リサイクル講習会事業を実施しました。

手分解リサイクル事業の障害者就労および環境・資源の両面における有効性を訴えるシンポジウムを開催した後、掃除機・パソコン・コンポ・電子レンジ・クーラー・テレビ・洗濯機・冷蔵庫の構造と分解方法を学ぶ実務講習を計8回行い、廃家電手分解マニュアルを作成し、障害者関連団体、自治体、社会福祉協議会等へ配布しました。

DATA

特定非営利活動法人 寿クリーンセンター

〒231-0026

神奈川県横浜市中区寿町4-14

寿町総合労働福祉会館1F

TEL&FAX. 045-633-2608

<http://kotobuki-clean-center.org/>

カナナ 効率よく、無駄を省くということはものすごく大切なことですが、全部効率的にして無駄を省いていってしまうと、やはりその中からはじき出されてしまうものはたくさんあります。それは私たちも決して無縁な話ではなくて、高齢化率も高く生活保護を受けている人の数も多く、心に病を抱えている人たちも多々いるこの地区でどういふモデルが作れるかということ、ひとつの大きなテーマになるような感じがしますね。

メイコ 「俺ももう一回ひと花咲かせたい」と言っていました。もう一回働けるなど思ってくださいること、それがとても大事なことですよね。